

防災気象情報について

気象庁予報部予報課
防災気象官

気象防災推進室
立原 秀一

段階的に発表する防災気象情報の活用

標準的な活用イメージ（大雨の場合）

※災害リスクの高い地区ほど、早めの対応が重要。命を守ることにつながる。

気象状況

大雨の約1日前
大雨の可能性が
高くなる



大雨の
半日～数時間前
雨が降り始める



雨が強さを増す



大雨の数時間
～2時間程度前



大雨となる



大雨が一層
激しくなる



広い範囲で
数十年に一度の
大雨

気象庁の情報

大雨に
関する
気象情報

大雨
注意報

大雨警報

大雨
特別警報

記録的短時間大雨情報
土砂災害警戒情報

市町村の対応

- ・ 職員の連絡体制を確認
- ・ 今後の気象状況に注意

・ 第1次防災体制
(連絡要員を配置)

・ 第2次防災体制
(避難準備情報の発令を
判断できる体制)

- ・ 必要地域に避難準備情報

・ 第3次防災体制
(避難勧告の発令を
判断できる体制)

- ・ 必要地域に避難勧告

・ 第4次防災体制
(災害対策本部設置)

- ・ 特別警報の住民への周知
- ・ メッシュ情報を参照し、
避難勧告等の対象範囲を
再度確認

住民の行動

気象情報やハザードマップを確認



- ・ 土砂災害警戒区域や浸水
想定区域等の危険な箇所
を把握
- ・ 避難場所や避難ルートを確認

最新の情報を把握して、
災害に備えた早めの準備



Point
備えは大丈夫？



地元市町村の避難情報に留意し、
危険の詳細をメッシュ情報等で
確認して速やかに避難



Point
早め早めの行動を！

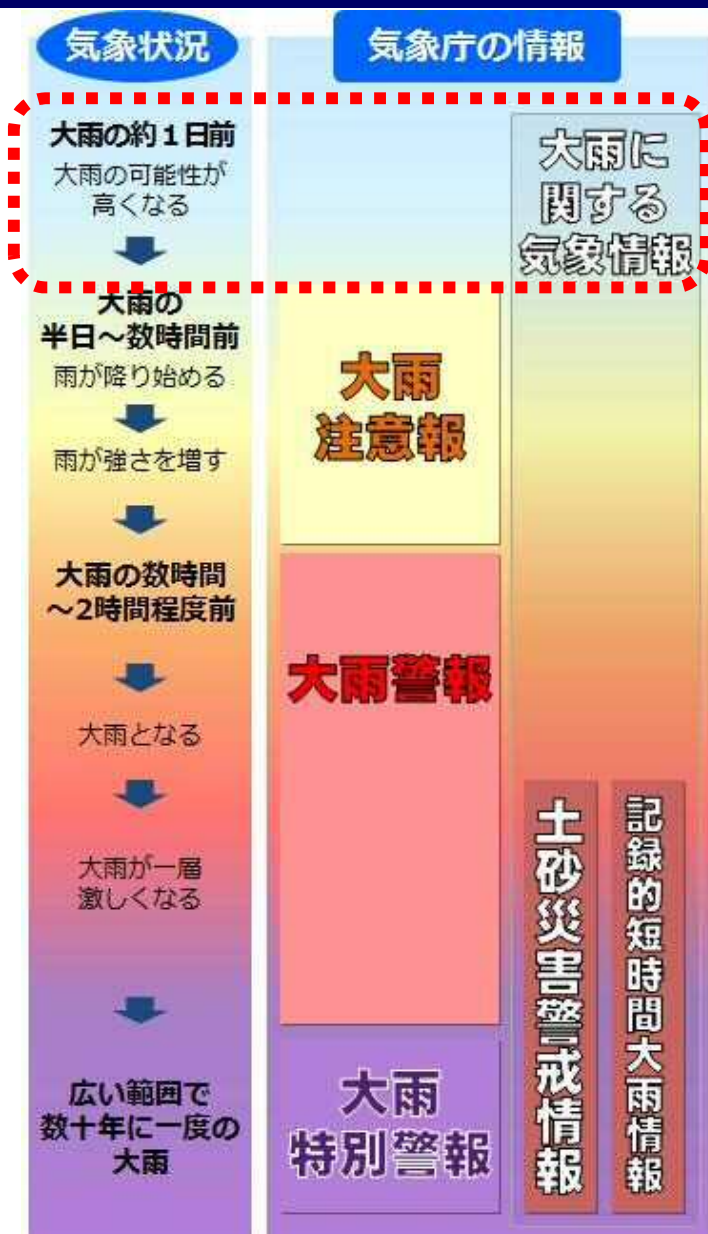


大雨や暴風で屋外に出ると生命に危険が及ぶ場合は、
屋内でも2階以上等のなるべく安全な場所で待避

すでに災害が発生している可能性あり！
直ちに地元市町村の避難情報に従うなど適切な行動を



気象情報 (警報・注意報に先立って発表)



「警報や注意報に先立って現象を予告し、注意を呼びかける」役割があります。24時間から2～3日先に災害に結びつくような激しい現象が発生する可能性のあるときに発表。

台風第18号に関する東京都気象情報 第1号

平成27年9月8日11時20分 気象庁予報部発表

(見出し)

東京地方と伊豆諸島では10日にかけて、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水やはん濫に警戒してください。また、伊豆諸島では高波に警戒し、強風や落雷、竜巻などの激しい突風に注意してください。

(本文)

[気象状況と予想]

台風第18号は、8日9時には父島の西約400キロにあって、1時間におよそ25キロの速さで北へ進んでいます。

<<中略>>

台風は今後、日本の南海上を北上し、9日には東海地方から近畿地方にかなり接近し、上陸するおそれがあります。本州付近に停滞する前線に向かって湿った空気が流れ込み、関東甲信地方では9日にかけて、大気の状態が非常に不安定となるでしょう。

[防災事項]

<大雨・雷・突風>

<<中略>>

伊豆諸島では引き続き、東京地方では台風第18号の北上に伴い9日未明から、雷を伴った1時間に30ミリ以上の激しい雨が降り、大雨となるおそれがあります。

9日12時までの24時間に予想される雨量は、いずれも多い所で、

東京地方 200ミリ

伊豆諸島 150ミリ

に達するでしょう。

その後、台風は10日にかけて日本海に進みますが、引き続き関東地方を中心に湿った空気が流れ込むため、10日にかけて大雨が続くおそれがあります。9日12時から10日12時までの24時間に予想される雨量は、東京地方と伊豆諸島の多い所で50ミリから100ミリとなる見込みです。

東京地方と伊豆諸島では、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水やはん濫に警戒してください。

<<中略>>

[補足事項]

今後発表する警報・注意報、気象情報、竜巻注意情報に留意してください。

次の「台風第18号に関する東京都気象情報」は、8日17時頃に発表する予定です。

予想される注意警戒期間、ピーク時間、雨量等の最大値を記述

予想される大雨の状況により、更にその先の雨量予測も記述

注意報(警報の発表が見込まれる場合はその旨を明記)



- ・注意報は、災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報
- ・警報の発表が見込まれる場合は、その旨を記述

平成27年9月8日17時26分 気象庁予報部発表

東京都の注意警戒事項

伊豆諸島南部では、9日昼前まで土砂災害に警戒してください。

新宿区

[発表] 大雨、雷、強風、洪水注意報

発表した注意報の種類

特記事項 浸水注意

警報の発表が見込まれる場合にその旨を記述

9日朝までに大雨警報（浸水害）に切り替える可能性がある
9日朝までに洪水警報に切り替える可能性がある

予想される注意警戒期間、ピーク時間、雨量等の最大値を記述

浸水 警戒期間 9日朝から 9日昼前まで
注意期間 8日夜遅くから 9日昼前まで
1時間最大雨量 50ミリ

雷 注意期間 9日未明から 9日夕方にかけて 以後も続く
風 注意期間 9日未明から 9日昼前まで

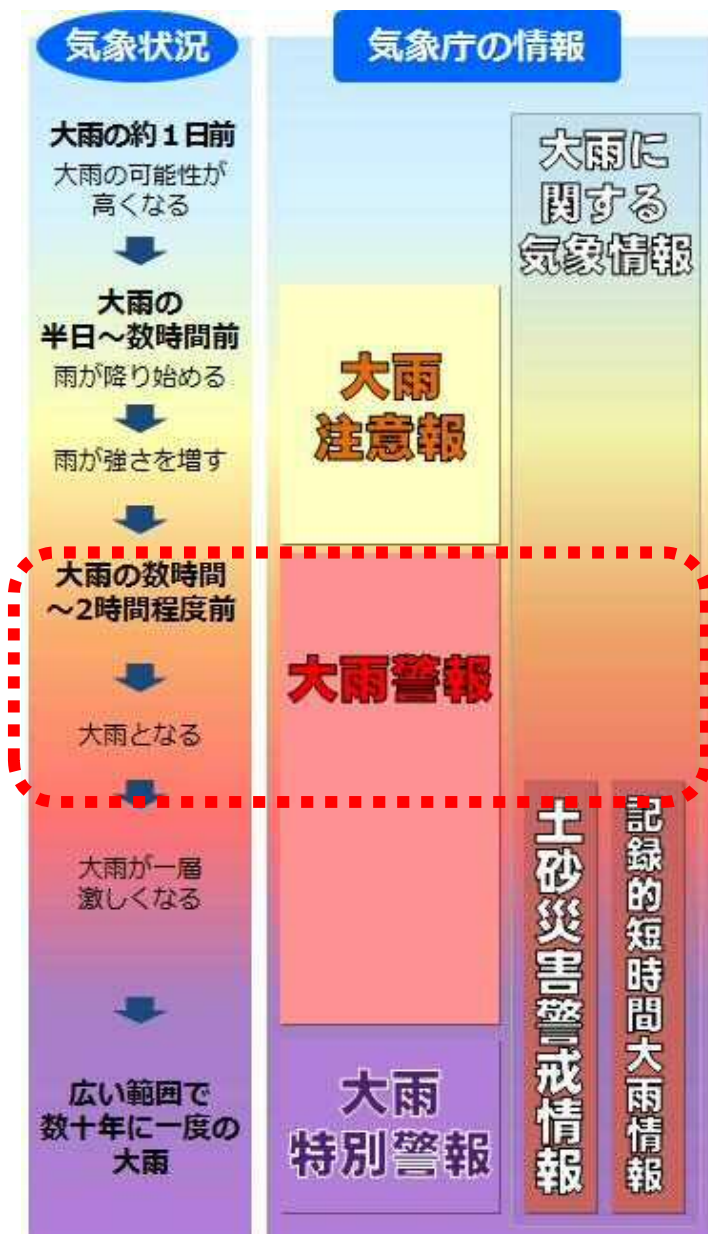
北東の風
最大風速 13メートル

洪水 警戒期間 9日朝から 9日昼前まで
注意期間 8日夜遅くから 9日昼前まで

付加事項 竜巻

警報等に関連して災害に結びつくおそれのある現象を記述

警報(重大な災害のおそれに関し警戒呼びかけ)



- ・重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報。
- ・現象の起こる地域や時刻、激しさの程度などの予測が変わったときは、発表中の内容を更新して再発表。

平成27年9月9日14時47分 気象庁予報部発表

東京都の注意警戒事項

伊豆諸島北部では9日夕方まで、東京地方では9日夜のはじめ頃まで、土砂災害に警戒してください。東京地方では、9日夜のはじめ頃まで低い土地の浸水や河川の増水に警戒してください。

発表した警報等の種類

新宿区 **〔発表〕 大雨（浸水害）、洪水警報** **〔継続〕 雷注意報**

〔解除〕 強風注意報

特記事項 浸水警戒 土砂災害注意

土砂災害 注意期間 10日昼前まで

浸水 警戒期間 9日夜のはじめ頃まで

注意期間 10日昼前まで

1時間最大雨量 50ミリ

洪水 警戒期間 9日夜のはじめ頃まで

注意期間 10日昼前まで

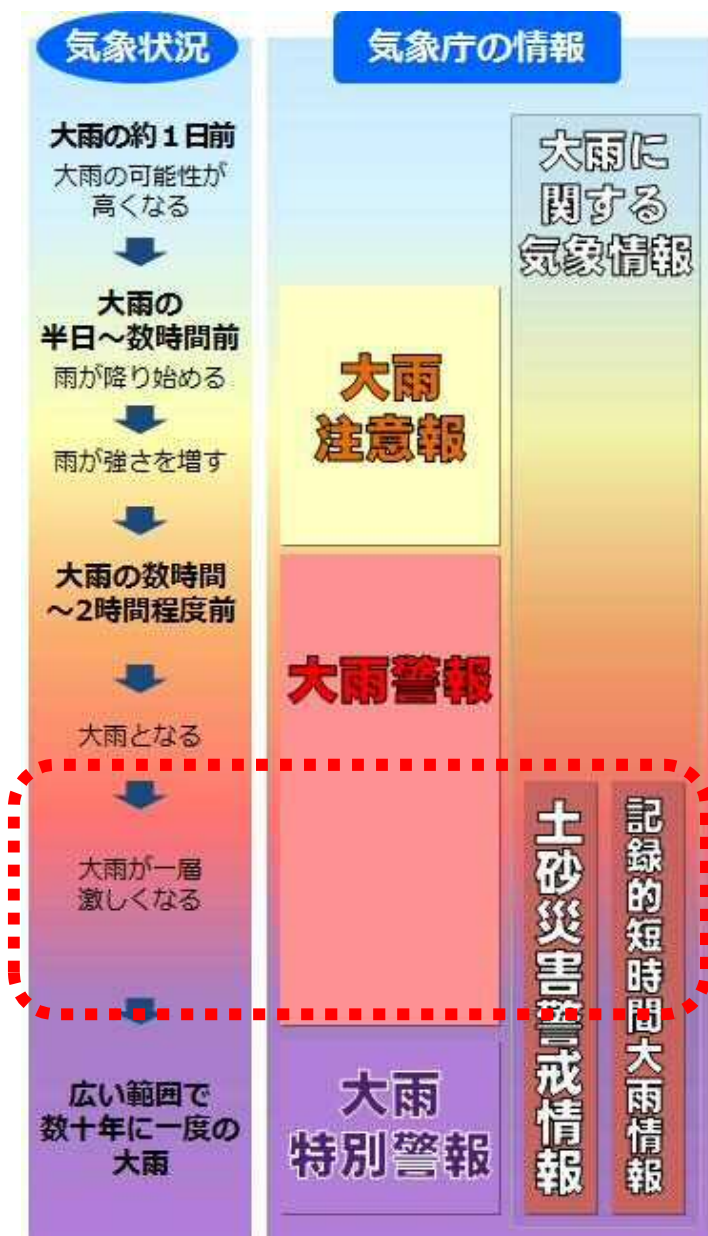
雷 注意期間 10日昼前まで

付加事項 はん濫 竜巻

予想される注意警戒期間、ピーク時間、雨量等の最大値を記述

警報等に関連して災害に結びつくおそれのある現象を記述

土砂災害警戒情報



- ・大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が非常に高まったときに、対象となる市町村を特定して都道府県と気象庁が共同で発表
- ・明記された市町村は、避難の必要な土砂災害が、いつ発生してもおかしくない状況が間際に迫っている（すでに発生しているところがあるかもしれない）ことを意味する情報

東京都土砂災害警戒情報 第4号

平成27年9月9日 15時15分

東京都 気象庁予報部 共同発表

【警戒対象地域】

八王子市 青梅市 町田市 日野市 福生市 武蔵村山市 稲城市* 羽村市
あきる野市 瑞穂町 日の出町 檜原村 奥多摩町

*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

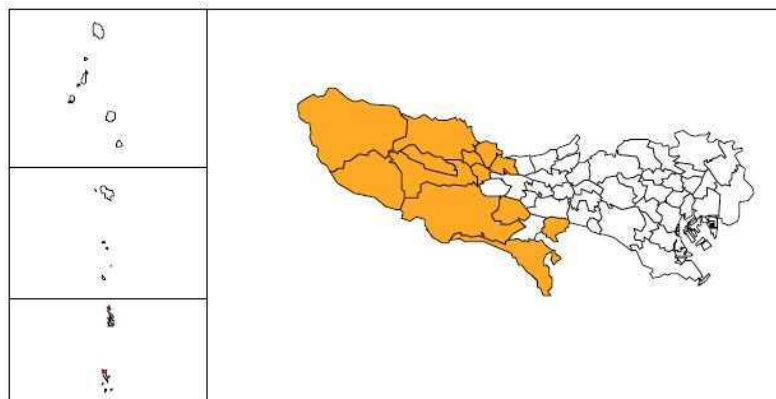
【警戒文】

<概況>

降り続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。

<とるべき措置>

崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は、早めの避難を心がけるとともに、区市町村から発表される避難勧告などの情報に注意してください。



警戒対象地域 地震影響域

警戒の必要な市町村名を明記

問い合わせ先
03-5320-5431 (東京都建設局河川部防災課)
03-3212-8341 (気象庁予報部予報課)

土砂災害警戒判定メッシュ情報

- ・時々刻々変化する現象変化を、詳細・高頻度に提供
- ・土砂災害警戒区域・危険箇所等と組み合わせることで緊急に避難の必要な地域がわかる。

いつもと違う状況に
気づいてもらう
(法的な伝達責務あり)



土砂災害警戒情報

大雨警報

等

危険度の
高まり等を
伝える

市町村

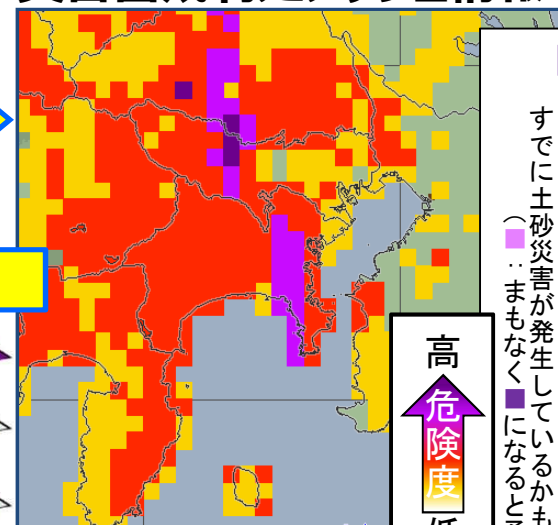
危険度の高まる
タイミングや
エリアを確認

危険の詳細を把握

住民

市町村長の避難勧告等の判断を支援
住民の主体的避難を促進

土砂災害警戒判定メッシュ情報



防災基本計画 (<http://www.bousai.go.jp/taisaku/keikaku/kihon.html>)

第5編 風水害対策編 第1章 災害予防

第4節 迅速かつ円滑な災害応急対策、災害復旧・復興への備え

1 災害発生直前対策関係

(2) 住民の避難誘導体制

○市町村は、土砂災害に対する住民の警戒避難体制として、土砂災害警戒情報が発表された場合に直ちに避難勧告等を発令することを基本とした具体的な避難勧告等の発令基準を設定するものとする。また、土砂災害警戒区域等を避難勧告等の発令単位として事前に設定し、土砂災害警戒情報及び土砂災害警戒情報を補足する情報等を用い、事前に定めた発令単位と危険度の高まっている領域が重複する区域等に避難勧告等を適切な範囲に絞り込んで発令できるよう、発令範囲をあらかじめ具体的に設定するとともに、必要に応じ見直すよう努めるものとする。国〔国土交通省〕は、これらの基準及び範囲の設定及び見直しについて、必要な助言等を行うものとする。

洪水警報・注意報と洪水予報

気象状況

大雨の約1日前
大雨の可能性が
高くなる

大雨の
半日～数時間前
雨が降り始める

雨が強さを増す

大雨の数時間
～2時間程度前

大雨となる

大雨が一層
激しくなる

広い範囲で
数十年に一度の
大雨

気象庁の情報

大雨
注意報

大雨警報

大雨
特別警報

洪水注意報

洪水警報

指定河川洪水予報

- ・気象の状況から、洪水のおそれがあると予想される市町村に対して洪水警報等を発表（気象庁単独で、大雨警報等と一体的に発表）
- ・洪水により国民経済上重大または相当な損害を生じるおそれがある河川（あらかじめ指定）に対して洪水予報を発表（共同発表）

中川はん濫注意情報

中川洪水予報第1号
洪水注意報（発表）
平成27年9月9日18時10分
江戸川河川事務所・熊谷地方气象台・気象庁予報部 共同発表

河川を明示し、水位・流量レベルに応じて、段階的な警戒を呼びかけ。

中川はん濫警戒情報

中川では、避難判断水位（レベル3）に到達 水位はさらに上昇
（主文）
中川の意水位の洪水予報は、中川はん濫警戒水位（レベル3）に到達し、三郷市、低い箇所等では、はん濫のおそれがあります。
中川では、はん濫危険水位（レベル4）に到達 はん濫のおそれあり
（主文）
中川の吉川水位観測所（吉川市）では、10日01時10分頃に、はん濫危険水位（レベル4）に到達しました。川沿いの北葛飾郡松伏町、吉川市、三郷市、越谷市、草加市、八潮市、葛飾区、足立区のうち、堤防の無い、または堤防の低い箇所などでははん濫するおそれがありますので、各自安全確保を図るとともに、市町村からの避難情報に注意して下さい。

中川洪水予報第2号
洪水警報（発表）
平成27年9月9日21時40分
江戸川河川事務所・熊谷地方气象台・気象庁予報部 共同発表

中川はん濫危険情報

中川洪水予報第3号
洪水警報
平成27年9月10日1時30分
江戸川河川事務所・熊谷地方气象台・気象庁予報部 共同発表

中川では、はん濫危険水位（レベル4）に到達 はん濫のおそれあり

（主文）
中川の吉川水位観測所（吉川市）では、10日01時10分頃に、はん濫危険水位（レベル4）に到達しました。川沿いの北葛飾郡松伏町、吉川市、三郷市、越谷市、草加市、八潮市、葛飾区、足立区のうち、堤防の無い、または堤防の低い箇所などでははん濫するおそれがありますので、各自安全確保を図るとともに、市町村からの避難情報に注意して下さい。
<<以下略>>

気象庁単独発表の洪水警報等と共同発表の洪水予報

【気象庁単独発表】気象の状況から、洪水のおそれがあると予想される**市町村に対して**洪水警報等を発表
 【気象庁と国土交通省または都道府県の共同発表】洪水により国民経済上重大または相当な損害を生じ
 るおそれがある河川を指定し、**その河川に対して**はん濫危険情報等を発表（指定河川洪水予報）

気象庁が、単独で発表

（災害対策基本法により 基礎的な地方
公共団体とする市町村を発表区域）
（区市町村ごとに基準を設定）

洪水警報・注意報
（水防法第10条1項）
（気象業務法第13条等）

気象庁が、国土交通省・ 都道府県と共同で発表

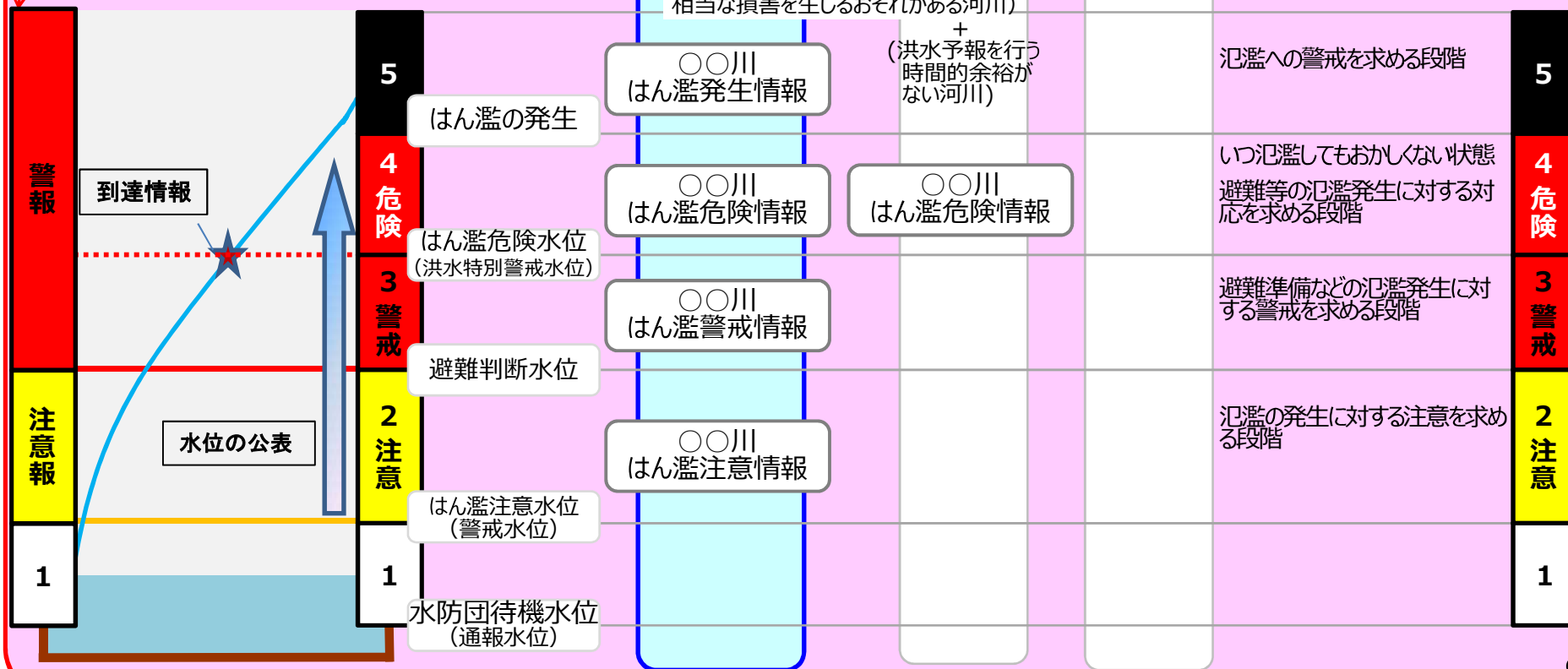
国土交通省
都道府県 発表

洪水予報河川
（水防法第10条2項・11条）
（気象業務法第14条の2）

水位周知河川
（水防法第13条）

**その他の
中小河川**

（洪水により国民経済上重大 または
相当な損害を生じのおそれがある河川）
+
（洪水予報を行う
時間的余裕が
ない河川）



洪水予報文、伝達手法の改善

- 発表の対象区域や避難の切迫性等が首長や住民に確実に伝わる洪水予報文、伝達手法へ改善

現在の洪水予報文

〇〇川氾濫危険情報

(主文)

〇〇川の△△水位観測所(××市)では、9日23時30分頃に、氾濫危険水位(レベル4)に到達しました。川沿いの〇〇市、△△市、××市のうち、堤防の無い、または堤防の低い箇所などでは氾濫するおそれがありますので、各自安全確保を図るとともに、市町村からの避難情報に注意してください。



課題

- 氾濫の危険性、切迫性が伝わりにくい
- 避難すべき地区が予報文では分からない

改善イメージ

〇〇川氾濫危険情報

(主文)

〇〇川の△△水位観測所(××市)では、9日23時30分頃に、氾濫危険水位(レベル4)に到達しました。川沿いの〇〇市、△△市、××市は、**〇〇川の堤防決壊や氾濫により、浸水のおそれがあります。直ちに、各自安全確保を図るとともに、市町村からの避難情報を踏まえ、適切な防災行動をとってください。**

気象情報 (警報・注意報を補足・解説)

気象状況

大雨の約1日前

大雨の可能性が
高くなる



大雨の
半日～数時間前

雨が降り始める



雨が強さを増す



大雨の数時間
～2時間程度前



大雨となる



大雨が一層
激しくなる



広い範囲で
数十年に一度の
大雨

気象庁の情報

大雨
注意報

大雨
警報

大雨
特別警報

気象
情報

・警報や注意報を発表している間に、その利用価値を高め、防災対応への支援をより効果的にするために、現象の経過、予想、防災上の留意点等を具体的にお知らせすることが必要であるときに発表。

・「警報」「注意報」「気象情報」は一体のものとして発表。

台風第18号に関する東京都気象情報 第8号
平成27年9月9日18時08分 気象庁予報部発表

(見出し)

東京地方では、土砂災害、低い土地や地下施設の浸水、河川の増水やはん濫に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意してください。

(本文)

【気象状況と予想】

台風第18号は、9日17時には輪島市の西約130キロにあって、1時間におよそ35キロの速さで北北西へ進んでいます。9日夜には温帯低気圧に変わる見込みです。

東京地方と伊豆諸島では、10日昼前にかけて湿った空気が流れ込み、大気の非常に不安定な状態が続くでしょう。

【防災事項】

<大雨>

降り始めの9月7日18時から9日17時までの総降水量は、

檜原村小沢	235.0ミリ
奥多摩町小河内	212.6ミリ
八王子市元本郷町	207.0ミリ
三宅島神着	199.0ミリ
青梅市新町	198.0ミリ
神津島空港	189.0ミリ
大島元町	188.0ミリ

となっています。(アメダスによる速

東京地方では、これまでに降った9日夜のはじめ頃にかけて1時間昼前にかけて1時間30ミリの激8時までの24時間に予想される見込みです。土砂災害、低い土地警戒してください。

<<以下略>>

○文章形式

- ・放送原稿としても活用できる文章形式
- ・長文になる場合が多いので、可能な限り項目を整理しつつ記述

- ・予想される最大値を記述
- ・可能な範囲で実況も記述

○図形式

- ・一見して警戒がわかる図形式
- ・気象レーダー等の注目すべきポイントを解説

台風第18号に関する東京都気象情報 第7号
平成27年9月9日15時51分 気象庁予報部発表

東京地方では、これまでの大雨で土砂災害の危険度が非常に高まっている所があります。10日昼前までは激しい雨が降るおそれがありますので土砂災害に厳重に警戒してください。

9日15時30分のレーダーによる雨雲の様子



東京地方では、降り始めからの雨量が200ミリを超えている所があります。9日夜にかけて1時間に60ミリの非常に激しい雨が降り、10日昼前までは激しい雨が降るおそれがあります。土砂災害に厳重に警戒してください。低い土地の浸水や地下施設の浸水、河川の増水やはん濫に警戒してください。落雷や竜巻などの激しい突風にも注意してください。

9月7日18時の降り始めから9日15時までの総降水量(アメダス速報値)

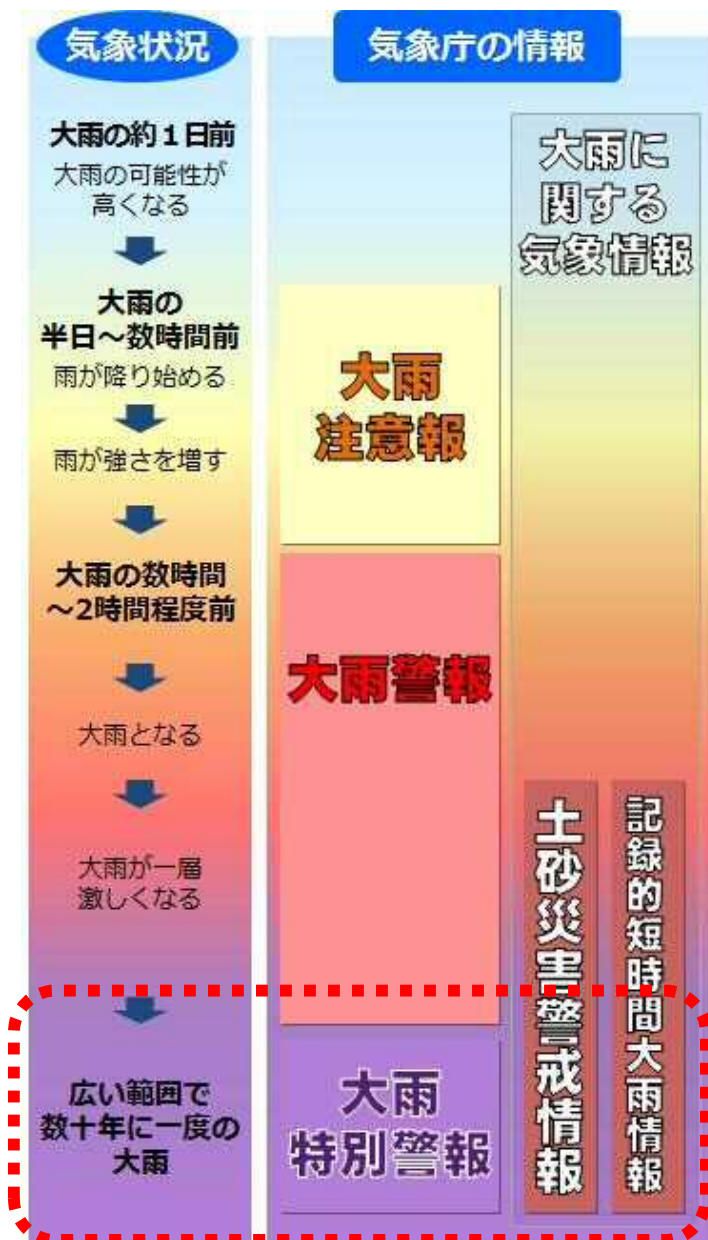
檜原村小沢	235.0ミリ
奥多摩町小河内	212.6ミリ
八王子市元本郷町	207.0ミリ

伊豆諸島でも、これまでの大雨で地盤の緩んでいる所がありますので、土砂災害に警戒してください。

今後発表する土砂災害警戒情報、警報、気象情報等に留意してください。
次の「台風第18号に関する東京都気象情報」は、9日18時頃に発表する予定です。

特別警報(最大限の警戒呼び掛け)

- ・警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に発表。



平成27年9月10日0時20分 宇都宮地方气象台発表

栃木県の注意警戒事項

【特別警報（大雨）】栃木県では、10日昼過ぎまで土砂災害や河川の増水に、10日明け方まで低い土地の浸水に警戒してください。

鹿沼市 **【発表】大雨特別警報（土砂災害、浸水害）** **【継続】洪水警報 雷注意報**

特記事項 土砂災害警戒 浸水警戒
土砂災害 警戒期間 10日昼過ぎまで
注意期間 10日夜遅くまで
浸水 警戒期間 10日明け方まで
注意期間 10日昼前まで
1時間最大雨量 80ミ
洪水 警戒期間 10日昼過ぎまで
注意期間 10日夜遅くまで
雷 注意期間 10日夜遅くまで
付加事項 はん濫 竜巻 ひょう

発表した特別警報等の種類

栃木県に特別警報発表

- ・栃木県に大雨特別警報を発表しました。
- ・これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- ・“重大な危険が差し迫った異常事態です。”
- ・土砂崩れや浸水による重大な災害が既に発生しているもおおしくない状況です。
- ・直ちに、地元市町村の避難情報に従う等、適切な行動をとってください。
- ・既に外出が危険な場合には、家の二階などのより安全な場所に退避する等、身を守るため、最善を尽くしてください。
- ・特に、現在夜間であることから、周囲の状況を十分に確認して行動してください
- ・すでに避難を完了している場合も油断しないでください

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください
(気象庁HP: <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

気象庁本庁の記者会見用資料
(気象庁ホームページでも公表)



記者会見を開いて、気象庁本庁の予報課長が厳重な警戒を呼びかけ。
※各地の気象台でも実施

記録的短時間大雨情報

大雨警報を発表中、府県内で数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を実際に観測・解析したときに発表

記録的短時間大雨情報の例

東京都記録的短時間大雨情報 第1号
平成26年9月10日17時49分 気象庁予報部発表

17時30分東京都で記録的短時間大雨
台東区付近で約100ミリ

実際に観測・解析した場所と降水量を列記

竜巻注意情報

今、まさに、竜巻等の激しい突風が発生するかもしれない（既に発生しているかもしれない）切迫した状況で発表

竜巻注意情報の例

東京都竜巻注意情報 第1号
平成27年9月4日14時14分 気象庁予報部発表

【目撃情報あり】東京地方で竜巻などの激しい突風が発生したとみられます。東京地方は、竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっています。

空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。

この情報は、4日15時20分まで有効です。

新たなステージに対応した防災気象情報（概要）

新たなステージに対応した防災気象情報

基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなるとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

① 時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【改善策】

平成 x x 年 x 月 x 日 1 1 時 x x 分 x x 気象台発表

x x 市

【発表】大雨（土砂災害、浸水害）、洪水警報
高潮注意報

【継続】暴風、波浪警報、雷注意報

	今日					明日				
	9時	12時	15時	18時	21時	00時	03時	06時	09時	
雨量(mm)	10	30	50	80	50	30	10	0	0	
大雨 (浸水害) (土砂災害)										
洪水										
風	陸上(m/s)	15	20	20	25	20	15	12	12	
	海上(m/s)	20	25	25	30	25	25	20	15	
波浪(m)		4	6	6	8	6	6	4	4	
高潮(m)		0.6	0.6	1.3	1.8	1.8	0.6	0.6	0.6	

【現在】

注意報・警報
(文章形式)



② 翌朝までの「警報級の現象になる可能性」の提供

- 夜間の避難を回避するため、可能性が高くなっても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表

③ 数日先までの「警報級の現象になる可能性」の提供

- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性					
雨	—	中	高	高	—
風	—	中	高	高	中

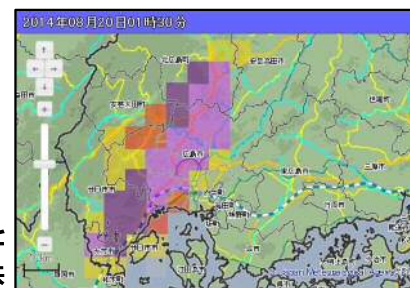
④ 実況情報の提供の迅速化

- 迅速な安全確保行動を促進する観点から、記録的短時間大雨情報をこれまでより最大で30分早く発表

⑤ メッシュ情報の充実・利活用促進

- メッシュ情報の充実
- さまざまな地理情報との重ね合わせ
- メッシュ情報の利活用促進

道路や河川、鉄道などの地理情報と重ね合わせてメッシュ情報を提供



継続的・中長期的に取り組むべき事項

- 市町村等への支援や住民への普及啓発活動の継続
- 分かりやすい防災気象情報となるよう不断の見直し

大雨警報(浸水害)を改善するための浸水雨量指数の導入、及び、 大雨警報(浸水害)を補足するメッシュ情報の提供

- ① 大雨警報(浸水害)の改善を図るため、大雨警報(浸水害)の発表基準に、浸水害発生との相関が高い指数(浸水雨量指数)を導入する。
- ② 大雨警報(浸水害)を補足するため、市町村内のどこで大雨警報(浸水害)基準値に達するかを視覚的に確認できるよう、浸水雨量指数をメッシュ情報で提供する。

危険度の高まりを伝える情報

大雨注意報

大雨警報
(浸水害)

等

危険度の
高まりを
伝える

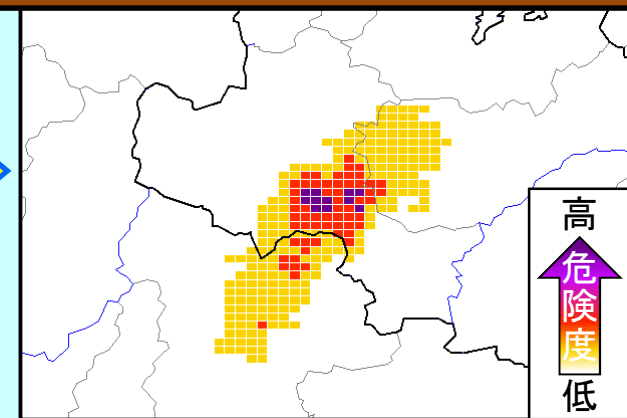
市町村

危険な地域
を視覚的
に確認

住民

警報等を補足する情報

大雨警報(浸水害)を補足するメッシュ情報

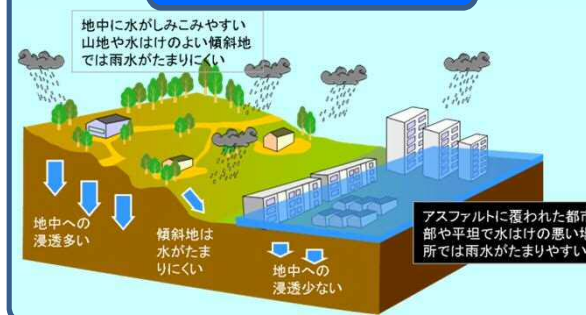


警戒が呼びかけられている市町村内で、
実際に危険度の高まっている地域を確認

発表基準

(平成29年度を目途)

浸水雨量指数



地図上に表示

(平成29年度を目途)

洪水警報を改善するための流域雨量指数の精緻化、及び、洪水警報を補足するメッシュ情報の提供

- ① 洪水警報の改善を図るため、洪水警報発表の基となる指数(流域雨量指数)を精緻化する。
- ② 洪水警報を補足するため、市町村内のどこで洪水警報基準値に達するかを視覚的に確認できるように、精緻化した流域雨量指数をメッシュ情報で提供する。

危険度の高まりを伝える情報

洪水注意報

洪水警報

等

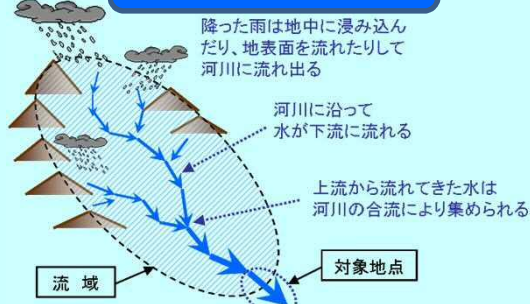
危険度の
高まりを
伝える

市町村

住民

危険な地域
を視覚的
に確認

流域雨量指数



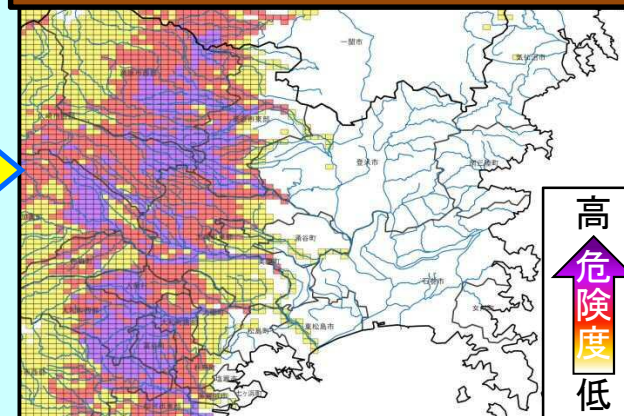
小河川も計算対象河川に含める※

発表基準

(平成29年度を目途)

警報等を補足する情報

洪水警報を補足するメッシュ情報



警戒が呼びかけられている市町村内で、実際に危険度の高まっている地域を確認

地図上に表示

(平成29年度を目途)

※流路長15km未満の小河川も含めて、国土数値情報に登録された中小河川を対象に流域雨量指数を計算する。また、計算格子を精緻化(5km→1km)し、精度向上を図る。